

1. 教学改革計画

【1-1】学修者本位の教育の展開

①学修成果の可視化

学生は、入学後の自身の成長を知り、大学も教育改革のために自身の教育成果を知るとともに、教育課程の検証を行う必要がある。学生がDPにどれぐらい近づけたかを、エビデンスをもって説明できるような仕組みを構築する。

↓具体的な取組み

◆学修成果の評価に関する方針（アセスメント・ポリシー）の策定→評価指標の作成、分析（各学科）
→教育課程等の改善策の立案（教学マネジメント委員会）。

◆学修ポートフォリオの導入

《担当部署》

教学マネジメント委員会、各学科

②教育内容、方法の改善

SPOD、学内FD研修、公開授業による授業方法の見直し等を活用し、教育内容、方法等の改善につなげる。また学生の主体的な学びを推進するためラーニングコモンズの活用促進、アクティブラーニング、サービ斯拉ーニング、ICTの活用など多様な学習方法を推進していく。

↓具体的な取組み

◆学内FDについては年度ごとに1回は教育方法に関する研修テーマを設け、全教員の参加を徹底させる。

◆公開授業については教育力向上を目指し全教員の参観を徹底させる。

◆各学科において地域との連携を活用した多様な学習機会を確保する。

《担当部署》

教学マネジメント委員会、FD委員会、各学科

③教育課程の改善

教育課程編成については教職協働により策定するが、各学科が定めるカリキュラム・ポリシーに沿った教育が展開できているか、その体系性・順次性について定期的に検証・改善する仕組みを構築する。

↓具体的な取組み

◆検証に必要な評価基準を設定する

◆学科ごとに検証を行ったうえで学部全体でその改善に向けた定期的検討の機会を確保する。

《担当部署》

教学マネジメント委員会、各学科

【1-2】学習環境の充実

①ICT環境の整備

ICT教育は現在、文部科学省推進のもとで小、中、高等学校で推進されているが、大学においてもICT環境を活用し、多様な学習・教育を展開することが期待されていることから、さらなるICT化の

推進を図る。

↓具体的取組み

- ◆学内 Wi-Fi 環境の整備
- ◆ICT 環境を整えたアクティブラーニングルームの整備
《担当部署》
教学マネジメント委員会、教務委員会、財務委員会

【1-3】教育の質の向上

①専門領域に応じた学部編成

学生の学修意欲に応え、教育研究力を高めるための組織区分への見直しを行う。

↓具体的取組み

- ◆人間社会学部（人間社会学科、社会福祉学科）、健康スポーツ学部（健康スポーツ学科）、看護学部（看護学科）の3学部への再編を進める。
《担当部署》
将来計画委員会、教学マネジメント委員会、各学科

②教員評価制度の導入

教員の積極的な教育研究活動を促すとともに、学生に対してより質の高い教育を提供するために、教員評価システムを構築する。

↓具体的取組み

- ◆教員評価規定の作成
- ◆教員評価表の作成と評価の実施
《担当部署》
FD 委員会、教学マネジメント委員会、大学評価委員会

③他大学との連携強化

近隣の大学との教育連携を推進していくことは、本学の教育を強化・充実させる上でも有効な方策であるため、積極的に連携教育の推進を図る。

↓具体的取組み

- ◆愛媛大学との連携協定に基づく教育連携の促進
- ◆共同研究、活動の推進
《担当部署》
教学マネジメント委員会、教務委員会、FD 委員会、各学科

2. 学生生活支援計画

【2-1】正課外活動の推進

①指定強化クラブの充実

本学の強みを形成していくうえで指定強化クラブにおけるスポーツ系活動の充実、発展を旨とし、そのための環境整備に積極的に取り組んでいく。

↓具体的取組み

◆新入部員の確保（強化クラブ新入部員 35 名確保）

◆女子バレーボール部の新設

◆活動環境の整備（グラウンド整備）

《担当部署》

将来計画委員会、指定強化クラブ運営推進会議、学生生活委員会

②ボランティア活動の推進

ボランティアセンターを拠点とした活動を推進していくため、組織体制を整備し、学生と教職員が一体となって取り組める環境整備を行う。

↓具体的取組み

◆「カタリナボランティアセンター」と「学生ボランティアセンター」の整理統合

◆ボランティア活動の情報発信（ホームページ、SNS などの積極的活用）

《担当部署》

学生ボランティアセンター、カタリナボランティアセンター

【2-2】キャリア形成の充実

①入学前・初年次教育の充実

入学前・入学初年次において、大学における学生生活と大学卒業後の自分を考えさせ、大学で学ぶ目的意識を持たせることで、キャリア形成のための基盤を培う。

↓具体的取組み

◆入学前教育の見直し

◆基礎演習の教育内容の見直し

《担当部署》

教学マネジメント委員会、教務委員会、各学科

②キャリア形成関連の教育の充実

共通教育や各学科における専門分野に位置づけられているキャリア関連科目の内容の充実を図る。

↓具体的取組み

◆キャリア関連科目の教育内容と CP, DP との整合性の検証

◆資格取得のための支援強化

◆就職支援体制の強化

《担当部署》

教学マネジメント委員会、教職課程委員会、教務委員会、就職委員会、各学科

③リカレント教育の充実

卒業生をはじめ社会人の学び直しやキャリアアップのための支援を充実させることで血の拠点としての役割を果たす。

↓具体的取組み

◆産学官連携による実践的な教育プログラムの開発と実践

◆社会人学生受け入れ促進

《担当部署》

各学科、入試募集委員会

【2-3】退学者防止

①学生満足度の向上

大学の財政学生総定員を充足するためには退学者を減らすための取組みが必要である。毎年度実施する「学生満足度調査」の各学科の総合評価 3.5 以上を目標とする。

↓ 具体的取組み

◆ 学生満足度調査の実施と学科ごとの改善のための取組み

《担当部署》

学生生活委員会、各学科

3. 学生募集計画

【3-1】入学定員の充足

① オープンキャンパス参加者数の増加

オープンキャンパス参加者が、入学者数に大きく影響することから、年度ごとに参加者の目標数を定め（目安として毎年度学科ごとの延べ参加者数を定員数×2.0）、目標達成に向けて全学的に取り組む。

↓ 具体的取組み

◆ 多様な方法による情報発信

◆ オンラインイベントの開催

《担当部署》

入試募集委員会、各学科

② 出願者数の増加

入学者を増やすためにはそもそも受験者を増やす必要がある。現行の入試システムを検証し、必要に応じて見直しをおこなう。

↓ 具体的取組み

◆ 入試制度の見直し（看護学科の面接試験の是非、複数学科への同時受験の可否）

《担当部署》

入試募集委員会

③ 内部進学者数の確保

学生確保において学園設置校からの一定の入学者を確保することが必要である。また、在籍者数の確保の観点から短期大学部からの編入学生の確保を図る。

※設置高校（聖カタリナ学園高校）卒業生徒の7～8%推移を目標とする。

※短期大学からの編入者数を毎年度4人以上を目指す。

↓ 具体的取組み

◆ 高大連携組織の強化（定期的な意見交換）

◆ 短期大学部学生対象の本学説明会の開催（全学生を対象）

《担当部署》

入試募集委員会、高大連携推進会議

④入学定員の見直し及び大学院設置の検討

- ◆各学科における入学定員が妥当であるか検証し、適正な入学定員に変更する。
- ◆北条キャンパスの学科において、大学院設置に向けた検討を開始する。

《担当部署》

将来計画委員会、各学科

4. 人事計画

【4-1】教員組織の充実

①適切な教員数の確保

高等教育を通して将来を担う若者に崇高な人格と優れた英知を授けるため、本学が定める「求める教員像および教員組織の編成方針」に基づき、収容定員に対する教員1人あたりの学生数に配慮した教員組織を編制する。

↓具体的取組み

- ◆年度ごとに各学科におけるST比(専任教員1人あたり学生数)をもとに教員バランスを確認する。

《担当部署》

人事委員会

②適切な教員の募集・採用・昇任

教育能力・研究業績・社会活動等の総合的な視点により決定する仕組みを構築する。

↓具体的取組み

- ◆採用基準、昇任基準の明確化

《担当部署》

人事委員会

5. 社会連携、社会貢献活動計画

【5-1】ネットワークを活用した活動の促進

①産学官連携事業促進

地域の多様な企業、機関、団体等との積極的な連携を図り、各学科が有する専門性を地域の発展に活かしていく取り組みを行う。

↓具体的取組み

- ◆産学官連携事業による共同研究の促進
- ◆産学官連携による各種イベントの開催

《担当部署》

地域連携推進室、各学科

②社会貢献活動

地域社会が抱える課題やニーズに対して本学が持つ知的、物的、人的資源を活用し持続可能な社会づくりに貢献する。

↓具体的取組み

- ◆聖カタリナ学園 SDG s 推進チームや松山市 SDGs 推進協議会を介して大学単独、あるいは学園内の各設置校、地域の企業や団体等との連携を図りながら積極的に SDG s 活動に取り組む。
- ◆大学独自の市民公開講座の開講
- ◆大学内施設の利用促進
 - 《担当部署》
 - 地域連携推進室

6. 経営基盤強化計画

【6-1】経費抑制計画

①不採算部門の整理

第2期期間中における不採算部門を洗い出し、その継続価値を検証し、縮小、改編、あるいは廃止を行う。

↓具体的取組み

- ◆スクールバス運行に関する検討
- ◆女子寮運営に関する検討
 - 《担当部署》
 - 将来計画委員会、財務委員会

②経費削減

これまでの経費削減策の点検を行い、経費の抑制に努める。

↓具体的取組み

- ◆IT導入によるコスト削減の検討
- ◆ペーパーレス化
 - 《担当部署》
 - 財務委員会

【6-2】外部資金獲得

①競争的資金の獲得

教育力の向上や内部質保証の観点からも積極的資金の獲得にチャレンジする。

↓具体的取組み

- ◆私立大学等経常費補助金
- ◆GPへの積極的な応募
- ◆科学研究費をはじめ、共同研究費、受託研究費、教育研究奨励給付金の獲得
 - 《担当部署》
 - FD委員会、財務委員会、教学マネジメント委員会

②寄付金の獲得

寄付金収入は学校法人の財務基盤を強化し、大学の教育研究等の充実や質の向上に寄与することが期待される。法人と連携を図り寄付金の募集に努める。

↓具体的取組み

◆系列の医療、福祉機関からの寄付金募集

◆地元企業等からの寄付金募集

《担当部署》

学園法人、財務委員会

1. 教学改革計画

【1-1】学修者本位の教育の展開

①学修成果の可視化

学生は、入学後の自身の成長を知り、短期大学も教育改革のために自身の教育成果を知るとともに、教育課程の検証を行う必要がある。学生がDPにどれぐらい近づけたかを、エビデンスをもって説明できるような仕組みを構築する。

↓具体的な取組み

◆学修成果の評価に関する方針（アセスメント・ポリシー）の策定→評価指標の作成、分析（学科）
→教育課程等の改善策の立案（教学マネジメント委員会）。

◆学修ポートフォリオの導入

《担当部署》

教学マネジメント委員会、学科

②教育内容、方法の改善

SPOD、学内FD研修、公開授業による授業方法の見直し等を活用し、教育内容、方法等の改善につなげる。また学生の主体的な学びを推進するためラーニングコモンズの活用促進、アクティブラーニング、サービ斯拉ーニング、ICTの活用など多様な学習方法を推進していく。

↓具体的な取組み

◆学内FDについては年度ごとに1回は教育方法に関する研修テーマを設け、全教員の参加を徹底させる。

◆公開授業については教育力向上を目指し全教員の参観を徹底させる。

◆学科において地域との連携を活用した多様な学習機会を確保する。

《担当部署》

教学マネジメント委員会、FD委員会、学科

③教育課程の改善

教育課程編成については学科が定めるカリキュラム・ポリシーに沿った教育が展開できているか、その体系性・順次性について定期的に検証・改善する仕組みを構築する。

↓具体的な取組み

◆検証に必要な評価基準を設定する

◆学科で検証を行い、改善に向けた定期的検討の機会を確保する。

《担当部署》

教学マネジメント委員会、学科

【1-2】学習環境の充実

①ICT環境の整備

ICT教育は現在、文部科学省推進のもとで小、中、高等学校で推進されているが、大学においてもICT環境を活用し、多様な学習・教育を展開することが期待されていることから、さらなるICT化の推進を図る。

↓具体的取組み

- ◆学内Wi-Fi環境の整備
- ◆ICT環境を整えたアクティブラーニングルームの整備
《担当部署》
教学マネジメント委員会、教務委員会、財務委員会

【1-3】教育の質の向上

①教員評価制度の導入

教員の積極的な教育研究活動を促すとともに、学生に対してより質の高い教育を提供するために、教員評価システムを構築する。

↓具体的取組み

- ◆教員評価規定の作成
- ◆教員評価表の作成と評価の実施
《担当部署》
FD委員会、教学マネジメント委員会、短期大学部評価委員会

2. 学生生活支援計画

【2-1】正課外活動の推進

①指定強化クラブの充実

本学の強みを形成していくうえで指定強化クラブにおけるスポーツ系活動の充実、発展を旨とし、そのための環境整備に積極的に取り組んでいく。

↓具体的取組み

- ◆新入部員の確保（強化クラブ新入部員 35名確保）
- ◆女子バレーボール部の新設
- ◆活動環境の整備（グラウンド整備）
《担当部署》
将来計画委員会、指定強化クラブ運営推進会議、学生生活委員会

②ボランティア活動の推進

ボランティアセンターを拠点とした活動を推進していくため、組織体制を整備し、学生と教職員が一体となって取り組める環境整備を行う。

↓具体的取組み

- ◆「カタリナボランティアセンター」と「学生ボランティアセンター」の整理統合
- ◆ボランティア活動の情報発信（ホームページ、SNSなどの積極的活用）
《担当部署》
学生ボランティアセンター、カタリナボランティアセンター

【2-2】キャリア形成の充実

①入学前教育の充実

入学前教育によって、保育学科で学ぶ目的意識を持たせ、モチベーションを高める。

↓具体的取組み

◆入学前教育の見直し

《担当部署》

入試募集委員会、学科

②就職支援体制の充実

専門職を希望する学生には、2年間での学びの成果によって希望の就職につなげる。一般職を希望する学生には、インターンシップへの参加を促す。

↓具体的取組み

◆資格取得のための支援強化

◆就職支援体制の強化（就職ガイダンス等）

《担当部署》

就職委員会、教務委員会、学科

【2-3】リカレント教育の充実

卒業生をはじめ社会人の学び直しやキャリアアップのための支援を充実させることで知の拠点としての役割を果たす。

↓具体的取組み

◆従前のリカレントセミナーの充実を図る。

◆社会人学生受け入れ促進

《担当部署》

学科、入試募集委員会

【2-4】退学者防止

①学生満足度の向上

短期大学の学生総定員を充足するためには退学者を減らすための取組みが必要である。毎年度実施する「学生満足度調査」の学科の総合評価 3.5 以上を目標とする。

↓具体的取組み

◆学生満足度調査の実施と学科改善のための取組み

《担当部署》

学生生活委員会、学科

3. 学生募集計画

【3-1】入学定員の充足

①オープンキャンパス参加者数の増加

オープンキャンパス参加者が、入学者数に大きく影響することから、年度ごとに参加者の目標数を定め（目安として毎年度延べ参加者数を定員数×2.0）、目標達成に向けて全学的に取り組む。

↓具体的取組み

◆多様な方法による情報発信

◆オンラインイベントの開催

《担当部署》

入試募集委員会、学科

②出願者数の増加

入学者を増やすためにはそもそも受験者を増やす必要がある。現行の入試システムを検証し、必要に応じて見直しをおこなう。

↓具体的取組み

◆入試制度の見直し

《担当部署》

入試募集委員会

③内部進学者数の確保

学生確保において学園設置校からの一定の入学者を確保することが必要である。また、在籍者数の確保の観点から短期大学部からの編入学生の確保を図る。

※設置高校（聖カタリナ学園高校）卒業生徒から30名の入学を目指す。

※大学への編入者数を毎年度4人以上を目指す。延いては短大の学生募集にもプラスになるよう、アピールの仕方を工夫する。

↓具体的取組み

◆高大連携組織の強化（定期的な意見交換）

◆短期大学部学生対象の大学説明会の開催（全学生を対象）

《担当部署》

入試募集委員会、高大連携推進会議？

④短期大学の存続、4年制大学への移行

3年連続で定員を充足できていない現状から、2022年度入試では定員減も含め、入試制度の見直しを行い入学者確保を図る。国の方針や県内の動向を見据えて4年制大学への移行の是非を検討する。

↓具体的取組み

◆入試制度の見直し

◆高校訪問の強化

◆保育学科からの情報発信の強化

《担当部署》

入試募集委員会、学科

4. 人事計画

【4-1】教員組織の充実

①適切な教員数の確保

高等教育を通して将来を担う若者に崇高な人格と優れた英知を授けるため、本学が定める「求める

教員像および教員組織の編成方針」に基づき、収容定員に対する教員 1 人あたりの学生数に配慮した教員組織を編制する。

↓具体的取組み

◆年度ごとに学科における教員バランスを確認する。

《担当部署》

人事委員会

②適切な教員の募集・採用・昇任

教育能力・研究業績・社会活動等の総合的な視点により決定する仕組みを構築する。

↓具体的取組み

◆採用基準、昇任基準の明確化

《担当部署》

人事委員会

5. 社会連携、社会貢献活動計画

【5-1】ネットワークを活用した活動の促進

①産学官連携事業促進

地域の多様な企業、機関、団体等との積極的な連携を図り、大学とともに保育学科が有する専門性を地域の発展に活かしていく取り組みを行う。

↓具体的取組み

◆産学官連携事業による共同研究の促進

◆産学官連携による各種イベントの開催

《担当部署》

地域連携推進室、学科

②社会貢献活動

地域社会が抱える課題やニーズに対して本学が持つ知的、物的、人的資源を活用し持続可能な社会づくりに貢献する。

↓具体的取組み

◆聖カタリナ学園 SDG s 推進チームや松山市 SDG s 推進協議会を介して大学単独、あるいは学園内の各設置校、地域の企業や団体等との連携を図りながら積極的に SDG s 活動に取り組む。

◆大学および短期大学独自の市民公開講座の開講

◆大学内施設の利用促進

《担当部署》

地域連携推進室

6. 経営基盤強化計画

【6-1】経費抑制計画

①不採算部門の整理

第2期期間中における不採算部門を洗い出し、その継続価値を検証し、縮小、改編、あるいは廃止を行う。

↓具体的取組み

◆スクールバス運行に関する検討

◆女子寮運営に関する検討

《担当部署》

将来計画委員会、財務委員会

②経費削減

これまでの経費削減策の点検を行い、経費の抑制に努める。

↓具体的取組み

◆IT導入によるコスト削減の検討

◆ペーパーレス化

《担当部署》

財務委員会

【6-2】外部資金獲得

①競争的資金の獲得

教育力の向上や内部質保証の観点からも積極的資金の獲得にチャレンジする。

↓具体的取組み

◆私立大学等経常費補助金

◆GPへの積極的な応募

◆科学研究費をはじめ、共同研究費、受託研究費、教育研究奨励給付金の獲得

《担当部署》

FD委員会、財務委員会、教学マネジメント委員会

②寄付金の獲得

寄付金収入は学校法人の財務基盤を強化し、大学の教育研究等の充実や質の向上に寄与することが期待される。法人と連携を図り寄付金の募集に努める。

↓具体的取組み

◆系列の医療、福祉機関からの寄付金募集

◆地元企業等からの寄付金募集

《担当部署》

学園法人、財務委員会